

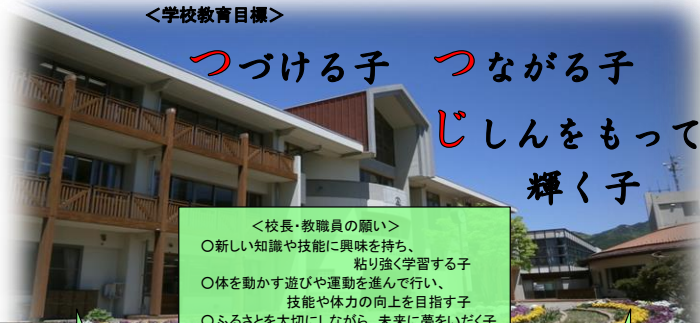
2020年度 筑北小学校 グランドデザイン

<学校教育目標>

つづける子 つながる子
じしんをもって
輝く子



「風に立つ」



<筑北小学校 校章>
○村の花「つじ」を表し、子どもたちの夢や希望が未来に向かって大きく開いていくことへの期待が込められている。
○「強」の字の右下のはねの部分と「北」の字の左下の部分がつながっている。みんながつながっている意味をもたせている。
○両サイドに人が上の方にひるげている様子は、子どもたちがのびのびと大きく成長してほしいという気持ちを表している。

<校長・教職員の願い>
○新しい知識や技能に興味を持ち、粘り強く学習する子
○体を動かす遊びや運動を進んで行い、技能や体力の向上を目指す子
○ふるさとを大切にしながら、未来に夢をいだく子

<子どもの願い>
～児童会スローガン～
「
○!
○!
○!

<保護者・地域の願い>
○先生や友だちの話をしっかり聞き、自信を持って表現できる子
○心身共に健康でたくましい子
○地域の良さを知り、地域を大切にできる子

今年度の重点目標と重点活動

じしんをもって輝く子【智】

<全校研究テーマ>
一人ひとりが根拠を明確にして考えをもち、【やる気】
仲間と伝え合う活動を通して、【挑戦】
「わかった」「できた」と感じることでできる授業のあり方【自信】

1 「やる気」「挑戦」「自信」の3段階を意識した授業構想

(1)「やる気」になる学習課題の設定 <ねらい>
①やってみたくなる、考えたくなる事象や問題の提示

(2)「挑戦」したくなる学び合いの工夫 <めりはり>
①「ズレ」や「困っていること・つまづき」から学び合う場面の設定
②言語活動の充実
特に自分の考えや気持ちを理由をつけて話す場面の設定

(3)「自信」につながる振り返り <見とどけ>
①学んだことの定着と自信につながる振り返り場面の設定

2 学習を進める上での工夫

(1)児童の主体的・協働的な追究になるような問題解決学習の展開

①

(2)地域素材の教材化を進め、「ふるさと学習」を全学年で実施

①

(3)ICTを活用し、思考力・表現力を育てる教育実践

①

つづける子【体】

- 心身共にたくましい子の育成
 - 持久走や大縄跳びの計画的・持続的な取り組み
 - 秋の持久走記録会に向け、持久走週間を設ける等、年間を通しての取り組み
 - 冬の運動量が減る時期、クラスで目標を立て、長野スポーツスタジアム「クラスで8の字ジャンプ」への挑戦
 - 基本的な生活習慣の形成 ～早寝・早起き・朝ごはん～
 - 睡眠指導の充実
 - 健康チェックカードの活用と保健学習資料の学級担任への提供
 - ほけんだよりによる家庭への啓発と連携
 - 姿勢指導の充実
 - 「姿勢教室」の実施と日常における「阪上プログラム」の実施
 - 食育の推進 ～望ましい食習慣の知識とマナーの習得～
 - 栄養士・養護教諭と連携した栄養指導の実施
 - 給食時間を利用した各教室での食に関する指導の実施



つながる子【徳】

- 「ありがとう」「ごめんね」が素直に言える子の育成
 - 他者理解・他者尊重を深める指導の充実
 - 友のよさと可能性に気づき、互いのよさを認め合ったり、互いの違いを受け入れたりすることができる資質や能力の育成
 - 授業や集会での構成的グループエンカウンター(SGE)やソーシャルスキルトレーニング(SST)の導入及びそれらに関する外部講師の活用
 - 自尊感情の育成
 - 自尊感情の向上につながる「やる気」「挑戦」「自信」の3段階の授業の日常的な実践
- 深い児童・保護者理解に基づいた支援
 - 定期的な支援会議、状況に合わせたミニ支援会議による情報共有や支援の検討
 - 村こどもサポートセンターとの連携による児童・保護者理解

教師の力量の向上

- 職員研修会の推進
 - 15分研修の計画的な実施
 - 見合う授業の実施
 - 非違行為を出さない和やかな職場づくり
- 特別支援教育、インクルーシブ教育の指導力向上
 - 支援会議による子どもたちへの支援の共有化
 - 外部講師による研修会の実施

保護者・地域・保小中との連携

- 保護者との連携の推進
 - 学校だより・学級通信等による情報発信
 - 家庭訪問、授業参観、音楽会、運動会、つづじっ子発表会、保護者懇談会等の実施
- 保小中との連携の強化
 - 校長会、教頭会、村教委定例会での情報交換
 - 2保育園、聖南中、麻績小、筑北中との連携・交流
- 地域との連携の強化
 - 1つづじっ子応援団の充実(右欄参照)

つづじっ子応援団の充実

- 読み聞かせ応援団
 - お話さくらんぼの会との連携・協働
- 学習・環境活動応援団
 - ふるさと学習への支援要請
 - 教科学習等への支援要請
 - 環境整備への支援要請
- 地域ふれあい講座応援団
 - 地域の伝統文化、サークル活動を親子で学ぶづくり
 - 組織の横の連携

学校評価活動 ○教職員の自己評価 ○児童の自己評価と授業評価 ○保護者による評価(学校生活アンケート・学校運営評価)
○学校関係者評価(つづじっ子応援団運営委員会)
○全国学力状況調査・CRT・PDCA等客観テスト(全国平均以上を目指す)による学力診断と分析 ○Q-Uによる学級経営評価と改善

長期的教育課題:通学区広域化と中小連携
○本城地域・坂井地域・坂井地域の連携・融合・統一化 ○聖南中との連携、交流 ○麻績小・筑北中との連携、交流
○教育課程編成の見直し・通学の安全性・施設設備の改善

筑北村教育理念:未来を切り拓く心豊かなたくましい人間の育成
共育:社会全体で共に育み、共に学ぶ教育の推進 共生:多様性を認め、共に生きる社会の実現 自立:知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間の育成